

指定管理者運営評価シート

| | |
|-----|--------|
| 年度 | 平成28年度 |
| 所管課 | 観光振興課 |

1 公の施設

| | |
|--------|--|
| 公の施設名称 | 佐賀市やまびこの湯 |
| 所在地 | 佐賀市三瀬村藤原3929番地2 |
| 施設概要 | 敷地面積 15,557.92 m ² 建築面積 2,496.99 m ² 延床面積 2,639.15 m ² テニスコート 1面 建物構造 本館及び新館:鉄筋コンクリート造(地上1階地下1階) 家族風呂休憩棟:木造平屋建 竣工 平成8年3月(平成24年3月改修) |

2 指定管理者

| | | | | | |
|-------|-----|-------------------|---------|-----|------------|
| 指定管理者 | 団体名 | 株式会社 創裕 | 指定期間 | 開始日 | 平成27年4月1日 |
| | 所在地 | 香川県高松市伏石町2177番地10 | | 終了日 | 平成32年3月31日 |
| 選定方法 | 公募 | | 利用料金の採否 | 採 | |

3 指定管理者の管理の実施状況等

| | |
|-------------------------|--|
| ①施設の運営業務 | <ul style="list-style-type: none"> 施設の開館及び閉館 入館者の受付・接客対応 利用促進 安全の確保及び緊急時の対応 印刷物の発行 入館者からの意見聴取 履行状況:利用促進について、履行しているものの結果が伴わず、入館者数減となった。 |
| ②施設の維持管理業務 | <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の監視・運転 源泉施設等の管理 施設・設備の保守点検 衛生管理 清掃 警備 施設・設備の修繕 備品等の管理 履行状況:適正に履行されている。 |
| ③指定管理者の提案による取り組みとその実施状況 | <ul style="list-style-type: none"> 年間を通してのイベントを行い集客を図った。 福岡方面や県内の老人クラブへの広報活動を積極的に行った。 食堂メニューを充実させ集客を図った。 |

| 施設利用状況(量)を示す指標名 | 単位 | 指定期間中の実績 | | | | |
|-----------------|----|----------|---------|----|----|----|
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 年度 | 年度 | 年度 |
| ① 入館者数 | 人 | 129,996 | 129,252 | | | |
| ② | | | | | | |
| ③ | | | | | | |
| ④ | | | | | | |
| ⑤ | | | | | | |

4 利用者ニーズ・満足度等の把握(実施していない場合は、その理由)

①利用者ニーズ・満足度等の把握実施方法

佐賀市の提言箱、アンケート用紙を常設。アンケート質問項目の中に接客を含む施設全般に対する評価を求める項目がある。

②ニーズ等の把握結果

・サウナ室の匂いが強い

③把握結果等への対応状況

・通常より強力な消臭剤を活用し対応。

5 指定管理料およびその内訳(指定管理者の収入)

(単位:千円)

| 区分 | 平成27年度決算 | 平成28年度決算 | 年度決算 | 年度決算 | 年度決算 | |
|-----------|----------|----------|------|------|------|---|
| 指定管理料 | 0 | 0 | | | | / |
| うち修繕費 | | | | | | |
| うち備品費 | | | | | | |
| うち光熱水費 | | | | | | |
| 摘要(補足説明等) | | | | | | |

6 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位:千円)

| 区分 | 平成27年度決算 | 平成28年度決算 | 年度決算 | 年度決算 | 年度決算 | |
|---------------|----------|----------|------|------|------|---|
| 使用料 | | | | | | / |
| 光熱水費等使用者負担金収入 | | | | | | |
| その他の収入 | | | | | | |
| 合計 | 0 | 0 | | | | |
| 摘要(補足説明等) | | | | | | |

7 指定管理者の自己評価

・総括としては、平成28年度佐賀市への運営方針として掲げていた内容に従い進めてきた。その中で年間売り上げ目標に於いては、目標を上回る結果を残すことができた。集客数においては課題を残す結果となった。利益に於いては2年連続でのマイナス実績となったため、今後よりいっそう営業努力、広報活動に力をいれ集約を図って行く。
 お客様に対する接客、館内外美化に於いては今まで以上の成果を上げることができ、施設への苦情も昨年度より減少した。

8 市による指定管理者の評価

・入館者数、食堂売上が減少となっているが、昨年度より積極的にイベントを開催したり、営業による集客活動を行っていることは評価できる。
 ・これまで以上に広報活動・営業活動に力をいれて集客増を期待する。
 ・施設の老朽化による修繕費用の増大が懸念される、経費節減の徹底が必要。